

防災・災害 対策

TEC-FORCE

緊急災害対策派遣隊

Technical Emergency Control FORCE / テックフォース

技術・事務一体となって、
大規模災害時に、
自治体支援のために出動。



被災状況調査

大規模な自然災害が発生した際、被災自治体の代わりに災害復旧のための被災状況調査を実施します。



自治体へ調査報告書の交付

被災自治体の早期復旧のために、被害規模や概算被害額等をまとめた報告書を被災自治体に交付します。

国土交通省では、大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施しています。

TEC-FORCE 隊員は、専門的な知識や現場経験などを有する災害対応エキスパートで構成され、支援が必要となる大規模災害が発生したときは速やかに出動し、災害対策機械(災害対策用ヘリコプター、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など)を伴い、被害の拡大防止や被災状況調査などの支援を行います。

防災・災害への取組



リエゾンの派遣

被災自治体への支援ニーズの聞き取りや技術的助言を実施します。



ドローン操縦訓練

安全かつ迅速に被災状況調査等を実施するために、ドローンを導入し操縦訓練を実施します。



防災ヘリ「ほっかい」

平時は調査や訓練を行い災害に備え、災害時には被災状況を空から調査し、被災地の映像をリアルタイムで配信します。



防災教育

教育機関等に出向き、防災意識の向上を目的とした各種講演を実施します。



西山 泰幸

NISHIYAMA YASUYUKI

採用年度 1990年採用

現所属 本局 事業振興部
都市住宅課
都市事業管理官

私は、日本各地に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨の際に、北海道開発局TEC-FORCE総括班の隊長として、九州地方整備局に設置されたTEC-FORCE総合司令部に赴きました。

徐々に被災状況の全容が判明する中、刻々と変わる市町村ニーズにあわせ、重点的な支援や調査が必要な箇所はどこか、そのために現地調査班などのリソースをどう展開するかなど、全国各地から派遣されている地方整備局と連携し、一日でも早い復旧復興に向け力を尽くしました。現地の隊員からは、住民の方より「遠く北海道からも来てくれて本当にありがとう」と声を掛けられた話も多く聞きました。

我々は国民の最後の砦である「公助」を担う重要な使命を帯びています。全国の被災地で困っている一人一人の笑顔を取り戻すために、一緒に働いてくれる情熱のある方をお持ちしています。



鈴木 応徳

SUZUKI MASANORI

採用年度 2017年採用

現所属 札幌開発建設部
千歳川河川事務所
計画課

私は令和元年度、台風19号・21号により被災した宮城県伊具郡丸森町へTEC-FORCEの一員として派遣され、主に丸森町が管理している普通河川を中心に被災状況調査を実施しました。

現地では、低平地一面が洪水の影響により多量の土砂が堆積して住宅や車が埋塞している状況や崩落した橋梁など、被災地の甚大な被害の光景を目の当たりにして衝撃を受けると同時に、自分も微力ながらも被災地域と人々のために尽力したいという思いで、馴染みのない土地と慣れない猛暑ではありましたが、必死に業務を遂行しました。

この経験を通じて、自然災害からの被害を未然に防ぐ河川事業の重要性を再認識するとともに、改めてやりがいのある仕事だと実感しました。

皆様と一緒に北海道開発局で働ける日を楽しみにしています。



小関 肇

KOSEKI HAJIME

採用年度 2001年採用

現所属 本局 開発監理部
開発計画課
開発計画専門官

令和元年台風19号の際に、東北地方整備局TEC-FORCE総合司令部へ派遣されました。

主な業務としては、現地までの移手段の確保、資機材の設置、勤務時間管理をはじめ、共に派遣されている被災状況調査班の活動状況を収集・整理し、災害対策本部及び当局防災担当へ報告するなどの業務を担当しました。

刻々と状況が変化中、被災地の早期復旧に向け、全国から集結した職員と協力し復旧支援に携わることを通じて、国土交通省の重要性を再認識すると同時に、やりがいのある業務だと実感しました。帰還時にいただいた感謝の言葉は、今も胸に残っています。

地域の安全を守るため、事務官としての役割も数多くあります。皆様も、共に活動してみませんか。